



進路だより

令和4年度 第9号
令和4年12月12日
島根県立大東高等学校
進路指導部 発行

徹底特集：テーマ「大学入学共通テスト」

1・2年生 <大学入学共通テストとは…>



- ①大学入学共通テスト（以下「共通テスト」と略記）は大学入試の1次試験。
共通テストは、次の②のように多くの大学・短大で利用されます。したがって大学・短大を受験しようと考えているほとんどの人にとっては避けては通れない第1 関門です。
ほとんどの国公立大学では個別学力検査、いわゆる2次試験があります。共通テストに参加している私立大学や短大では、共通テストだけの成績で合否を判定する方式や、共通テストと個別学力検査をあわせる方式、そして個別学力検査のみの方式の3つがあります。
- ②今年度（令和5年度入試）共通テストを活用する大学は、国立大学82，公立大学94，私立大学535，公立短大12，私立短大139等の合計870大学。
- ③今年度（令和5年度入試）共通テストを受験する人は、512,581人。
前年度より17,786人減少しましたが、現役志願率は45.1%であり、昨年度と同じでした。
※現役志願率：令和5年3月高等学校卒業見込者（現役生）のうち、共通テストに出願した人の割合。（共通テスト志願者のうちの現役生の割合ではない。ちなみにその割合は85.2%。）
- ④2日間で実施され、1日目は文系教科、2日目は理系教科。（右上の表参照）
- ⑤解答はマークシート方式で、6教科合計900点満点。
文系：国語(200)，数学(100×2)，英語(200)，地歴・公民(100×2)，理科(50×2)
理系：国語(200)，数学(100×2)，英語(200)，地歴・公民(100)，理科(50×2+100または100×2)
※英語はリーディング(100点)，リスニング(100点)の合計200点。
※理科の科目選択方法（次のA～Dのうち一つを選択する。）
(理科①，②の科目については右上の表参照)
A：理科①を2科目受験する。 B：理科②を1科目受験する。
C：理科①を2科目，理科②を1科目受験する。 D：理科②を2科目受験する。
一般的には、文系の人A，理系の人CまたはDとなります。
理科①の基礎科目はすべて1科目50点満点です。
- ⑥各教科・各科目とも、教科書で扱われている基礎・基本的な事柄を中心に出题される。
昨年の合計点(900点満点)の平均は、文系で520点，理系で523点です。各教科・科目の平均点については大学入試センターのホームページで確認してください。
- ⑦国・数・英の出题範囲の学習は、基本的に2年次までに終了する。
- ⑧大東高校の生徒は、島根大学松江キャンパスで受験する。

試験日	試験教科・科目		試験時間(分)
第1日 1/14 (土)	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理・政経」他	2科目選択 9:30～11:40 (60分×2(+10分)) 1科目選択 10:40～11:40 (60分)
		国語	「国語」 13:00～14:20(80分)
	外国語	「英語」 【リーディング】 15:10～16:30 (80分) 【リスニング】 17:10～18:10 (試験自体は30分)	
第2日 1/15 (日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30 (30分×2) 2科目 ※1科目だけの受験はできない。
	数学①	「数学I」「数学I・数学A」	11:20～12:30 (70分)
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」	13:50～14:50 (60分)
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2科目選択 15:40～17:50 (60分×2(+10分)) 1科目選択 16:50～17:50 (60分)

共通テストは、高校で学習してきたこと全てがどれだけ身につけているのか試される試験です。基本的に、英語・数学・国語は1・2年生の教科書の内容から、理科・地歴・公民も教科書の内容から出題されます。しかし近年、単なる知識を問うだけの問題だけでなく、長い問題文を読ませて思考力を問う問題も多く出題されるようになり、難しくなっています。すべての教科で問題を読み取る読解力(国語力)も必要になってきています。平素から家庭学習と授業を大切に、基礎学力を定着させていきましょう。

3年生 共通テストまであと33日 さあ最後の追い込み!

- 願書は取り寄せましたか？
まだの人は大至急テレメール等で取り寄せましょう。国公立大学の出願締切は、前期・中期・後期のすべてで2月3日(金)です。1/21(土)の進路検討会が終わってからでは間に合いません。共通テストまでには出願する可能性のある大学すべての願書を必ず取り寄せておきましょう。
- 毎日勉強頑張っていますか？ 1点でも多く取るために…
まだ33日あります。裏面の先生方からのアドバイスを参考にして、最後まであきらめずに頑張りましょう。焦りは禁物。あれもこれもではなく、冷静に、自分が点を伸ばせる分野はどこか？それを見極めましょう。
- 不安を克服するには努力しかない！
自分を支えてくれるのは「一生懸命やった！」という自信のみ。
- 新しい問題に手をつけるよりは、今までやってきたことの反復練習をしよう！
模試の見直しや「教科書を覚えるくらい読む」こともよいと思います。
- 本番をベストコンディションで受けよう！
ラストスパートをかけるべき時ですが、度を越えた無理は禁物。栄養と休養は絶対に欠かせません。試験日をベストコンディションで迎えられるように、手洗い・うがい・マスク着用・防寒対策など、体調管理のためにできることはすべてやっておきましょう。(インフルの予防注射も!)
また、当日は朝から夕方遅くまで試験が続きます。自宅で学習するときも、授業でも補習でも、「リラックスした状態」から「集中した状態」への切り替えを意識して訓練しておきましょう。

共通テストの問題について

<国語> 国語科より

国語の共通テストは、現代文2題(論理的、文学的)、古典2題(古文、漢文)です。大きな特徴は、本文に加えて、本文に関連する別の文章や資料や授業のノートなどを読まなければならない問いがあることです。

令和3年・共通テスト 論理的 問5より抜粋(本文省略 → 大学入試センターのHPで見てください。)

問5 この文章を授業で読んだNさんは、内容をよく理解するために、【ノート1】～【ノート3】を作成した。本文の内容とNさんの学習の過程を踏まえて、(i)～(iii)の問いに答えよ。

令和3年・共通テスト 文学的 問6より抜粋(本文省略)

問6 次に示す【資料】は、この文章(加能作次郎「羽織と時計」)が発表された当時、新聞紙上に掲載された批評(評者は宮島新三郎)の一部である。これを踏まえた上で、後の(i)・(ii)に答えよ。

令和3年・共通テスト 古文 問5より抜粋(本文省略)

問5 次に示す【文章】を読み、その内容を踏まえて、X・Y・Zの三首の和歌についての説明として適当なものを、後の①～⑥のうちから二つ選べ。

とにかく時間に追われますので、長い文章を早く読むように訓練する必要があると思います。

<英語> 英語科より

大学入学共通テストには、「筆記(リーディング)」(80分)100点、「リスニング」(30分)100点があります。

★リーディングには次のような特徴があります。

特徴① 総語数6,000語を超える膨大な文書量です。(2021より500語程度増加しました)

集中力を切らすことなく、一定の速さで最後まで読み解く力が求められます。

参考 英語I教科書 Power On English Communication I (L1～L10) 総語数 3,619語

英語II教科書 Power On English Communication II (L1～R2) 総語数 5,381語

特徴② 「事実と意見を整理する」問題、ウェブサイト・ブログ記事や雑誌記事などの読み取り、複数のブログを読み比べて要点をつかむ問題など、現実社会で実際に目にする素材が多用されています。

～2022年1月15日実施 大学入学共通テスト 第2問Aより抜粋(本文省略)～

One fact stated by a previous student is that .

「以前の学生が述べた一つの事実はということである」

① headphones or earphones are necessary when watching videos

「ビデオを見る時はヘッドホンやイヤホンが必要だ」

② the library is open until 9 pm 「図書館は午後9時まで開館している」

③ the library orientation handouts are wonderful 「図書館オリエンテーション資料は素晴らしい」

④ the Study Area is often empty 「自習スペースには誰もいないことがよくある」

注：実際の問題には日本語訳はついていません。

今回問題文で求められているのは、fact(事実)であり、opinion(意見)は誤答となります。事実とは、個人の主観的な意見ではなく、客観的な事柄のことです。このことを踏まえて本文を読み、必要な情報を読み取ることが要求されています。つまり、③「素晴らしい」＝個人の意見を表していますので、選ぶべき選択肢から消去します。

今回は本文を載せていないので記述の有無の判断を説明できませんが、②と④は事実ではありますが、本文の内容になかったり、矛盾したりしています。よって正解は①となります。今後の学習では、「必要な情報は何か」を意識して英文を読むことが大切になることを覚えておきましょう。

★リスニングには以下の特徴があります。

特徴①音声が2回流れる問題と1回だけ流れる問題があります。集中力が求められます。

特徴②文法や語法の知識が鍵となるものや、発言の要点を整理する力が問われる問題が出題されました。

大学入学共通テストは、一見難しそうに見えるかもしれませんが、1、2年生の基礎をしっかりと固めていけば解けるように来ています。毎日の英語の授業の小テストは満点をとっていますか？今の学習が直接実践力につながります。

<数学I・A> 数学科より

大学入学共通テストの数学IAは、単なる数値を求めていく問題だけでなく、

- ・正しい(あるいは誤っている)選択肢を選ぶ問題
- ・具体的な実社会での設定がなされ、それに対して数学を適用し、解釈をしていく問題
- ・複数の登場人物が会話をしており、その人物の考えを踏まえて解答していく問題

など、様々な形式の問題が出題されています。以下は昨年の大学入学共通テストで実際に出題された問題の抜粋です。

【2022年実施 大学入学共通テスト 数学IA 第2問題[1]抜粋】

p, q を実数とする。花子さんと太郎さんは、次の二つの2次方程式について考えている。

$$x^2 + px + q = 0 \dots \text{①} \quad x^2 + qx + p = 0 \dots \text{②}$$

①または②を満たす実数を x の個数を n とおく。

(1) $p=4, q=-4$ のとき、 $n = \text{ア}$ である。また、 $p=1, q=-2$ のとき、 $n = \text{イ}$ である。

(2) $p=-6$ のとき、 $n=3$ になる場合を考える。

花子：例えば、①と②をともに満たす実数 x があるときは $n=3$ になりそうだね。

太郎：それを α としたら、 $\alpha^2 - 6\alpha + q = 0$ と $\alpha^2 + q\alpha - 6 = 0$ が成り立つよ。

花子：なるほど。それならば、 α^2 を消去すれば、 α の値が求められそうだね。

太郎：確かに α の値が求まるけど、実際に $n=3$ となっているかどうかの確認が必要だね。

花子：これ以外にも $n=3$ となる場合がありそうだね。

$n=3$ となる q の値は $q = \text{ウ}, \text{エ}$ である。ただし、 $\text{ウ} < \text{エ}$ とする。

【解答】 (ア) 3 (イ) 2 (ウ) 5 (エ) 9

この問題は2つの2次方程式のいずれかまたは両方をみだす実数の個数の考察を太郎さんと花子さんの考えにしたがって解いていく問題です。(1)については、因数分解の公式や解の公式、判別式など基本的な知識を活用して n の値を求めることができますが、(2)については、太郎さんと花子さんの会話をヒントに①と②の解について発展的に考える力が必要になります。

大学入学共通テストに出題される様々な問題形式に対応するためには、基本的な知識を習得することに加えて、その知識を発展させて考えたり、組み合わせで考えたりする力が必要になります。日々の授業で分からなかったことや不思議に思ったことはそのままにせず、深く掘り下げてみるクセをつけるようにしましょう。また、発展的に考えるためには、基本的な知識をしっかりと習得しておくことが必要です。日々の授業の小テストや課題をおろそかにせず、真剣に取り組むようにしましょう。

共通テストの問題は試験日の翌日に新聞発表されます。過去の問題は大学入試センターのHPにもあります。1、2年生の皆さん。是非チャレンジしてみてください！